

CHAPTER 1 Follow the Voice of Your Heart (pp.10-23) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・吉岡秀人氏の生い立ちから現在の活動、および読者へのアドバイスを読み取ることができる。【全体】
- ・吉岡氏の幼少期の時代背景を理解することができる。【Part 1】
- ・吉岡氏が医師を目指すまでの移り変わりを接続表現に注意して追うことができる。【Part 1】
- ・吉岡氏が医師になるために勉強を始めた予備校時代からミャンマーへ向かうまでを時系列で整理しながら読み進めることができる。【Part 2】
- ・吉岡氏がミャンマーで活動を始めたときの苦労を理解することができる。【Part 3】
- ・吉岡氏が「心を救う医療」の大切さに気付くまでの過程を、感情表現に注目しながら理解することができる。【Part 3】
- ・吉岡氏が「ジャパンハート」という医療ボランティア団体を結成した経緯を理解することができる。【Part 4】
- ・吉岡氏の読者へのアドバイスを理解することができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・動詞の単純形、進行形、完了形【GC-1】
 - (1) 時制を理解し、それらが用いられた文の意味・構成を理解することができる。
 - (2) 時制を理解したうえで、イラストが表す状況を適切に表すことができる。
- ・動詞＋名詞、動詞＋前置詞＋名詞、動詞＋形容詞【GC-2】
 - (1) 目的語、前置詞、補語の役割と機能を理解し、文構造を捉えることができる。
 - (2) 英語の文構造を理解したうえで、自分が普段やっていることを適切に表現することができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
 - (Pt.1) reality, overcome, including, mood, destiny, tragic, suffer, none, lazy
 - (Pt.2) desire, obtain, license, secure, emergency, boss
 - (Pt.3) clinic, equipment, expense, midnight, exhausted, cancer, helpless, comfort
 - (Pt.4) completely, organized, limited, donation, organization, refuse, shocking, failure
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
 - (Pt.1) Vietnam, expo, starving, preparatory
 - (Pt.2) Myanmar
 - (Pt.3) shabby, stethoscope, constantly
 - (Pt.4) motto
- ・医療に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
 - (Pt.1) out of reach, carry on, No wonder.
 - (Pt.2) believe in ..., keep on doing, That is why ...
 - (Pt.3) run out of ..., give up on ..., from the bottom of one's heart, at least, help O (to) do
 - (Pt.4) on one's own, at first, work out, along the way, at all

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・書いた内容についてクラスで話し合うことができる。【MIY-STEP 3】
- ・ネットワークに出てきた語句を使って、グループでストーリーを完成させることができる。【VN-TASK 1】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・過去の決断が自分にどのような影響を与えたかを書くことができる。【MIY-STEP 1, 2】
- ・医療に関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・本文で読んだ吉岡氏の生き方やメッセージを踏まえて，過去の決断が自分にどのような影響を与えたかについて書き，それをクラスで話し合うことができる。【MIY-STEP 2, 3】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり，ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を，コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・医療に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ，ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして，定着を図っている。
- ・本課の全文を 10 回以上音読し，定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い，学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 2 The Power of Design (pp.24-37) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・デザインの持つ人間の行動や社会への影響を読み取ることができる。【全体】
- ・だれがどこでどのような目的で話されているのかを理解できる。【Part 1】
- ・デザインの定義を理解できる。【Part 1】
- ・製品デザインの外観と機能の関係についての説明を認識できる。【Part 2】
- ・人間の行動に対するデザインの効果についての説明を理解できる。【Part 3】
- ・「説得的デザイン」の例示を踏まえ、説明を理解できる。【Part 3】
- ・デザインの社会的影響を考えることができる。【Part 4】
- ・身の回りのデザインに着目し、そのデザインが持つ意味を考えることができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・時・条件・理由を示す接続詞【GC-1】
 - (1) 接続詞 *when, if, because* の機能を理解し、それらが用いられた文の意味を理解することができる。
 - (2) 接続詞 *when, if, because* を用いて、関連する文と文を接続することができる。
 - (3) 接続詞 *when, if, because* を適切に使って、イラストの内容を表すことができる。
- ・V+O+*do* [形容詞]【GC-2】
 - (1) 知覚動詞・使役動詞がどのような役割を持つかを理解し、それらが用いられている文の意味を理解することができる。
 - (2) 「V+O+形容詞 [分詞]」の文の意味を理解することができる。
 - (3) 「V+O+*do* [形容詞 / 分詞]」の文を使って、会話を完成させ、やり取りをすることができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
(Pt.1) *exhibition, section, graphic, connect, various, relate, function, impact(n.), generally, define, combination, pattern, attractive, variety*
(Pt.2) *closely, attach, pour, differ, slightly*
(Pt.3) *concerned, ordinary, unusual, normally, tempt, bump, post(v.), effective*
(Pt.4) *extremely, mayor, industrial, introduction, satisfaction, direct(adj.), encounter*
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
(Pt.2) *spout, teapot, tilt, leak, lid, contrast(n.)*
(Pt.3) *crosswalk, diagonal, subconsciously, multiple, persuasive*
(Pt.4) *persist*
- ・デザインに関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
(Pt.1) *start off, come to mind, in fact, be related to ...*
(Pt.2) *take a look at ..., every last ..., in contrast, so that ..., in other words, carry out ...*
(Pt.3) *tempt O to do, as a result, bump into ...*
(Pt.4) *in terms of ...*

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・自分で考えたエレベーターボタンのアイデアをグループ内で共有できる。【MIY-STEP 2】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・グループで発表するアイデアについて話し合い、1つ選出することができる。【MIY-STEP 3】

・ ネットワークに出てきた語句を使って、グループでストーリーを完成させることができる。【VN-TASK 1】
3.5 書くこと (Writing Domain) ・ いちばんよいと思うエレベーターボタンについて、英語で表現できる。【MIY-STEP 1】 ・ デザインに関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】
3.6 領域統合 (Integrated Domains) ・ 本文で読んだデザインの大切さを踏まえて、グループでエレベーターのボタンのデザインについてディスカッションを行い、魅力的なアイデアを選出することができる。【MIY-STEP 2, 3】
4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management) ・ 教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。 ・ 本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。 ・ デザインに関連する語彙や慣用表現を自分で調べ、ネットワークの充実化を図っている。 ・ 本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。 ・ 本課の全文を 10 回以上音読し、定着を図っている。【通読用本文】 ・ 授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;
 CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 3 A Cool Food: *Kakigori* (pp.38-51) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・日本とマレーシアのかき氷の特徴から、食文化の豊かさを読み取ることができる。【全体】
- ・日本のかき氷の歴史について時代を表す表現に着目しながら理解することができる。【Part 1】
- ・マレーシアの生徒がオンラインでアイスカチャンについてプレゼンテーションしているという状況設定をとらえることができる。【Part 2】
- ・アイスカチャンの特徴である色や食感をイメージすることができる。【Part 2】
- ・ユスラとレンが日光で日本のかき氷を食べているという状況設定をとらえることができる。【Part 3】
- ・提案・勧誘などの会話表現を理解することができる。【Part 3】
- ・レンがマレーシアと日本のかき氷についてプレゼンテーションを行うという状況設定をとらえることができる。【Part 4】
- ・〈共通点〉→〈相違点〉→〈結論〉という大きな構成とともに、段落内部の構造も論理展開を示すディスコースマーカーに注目して理解することができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・現在完了形(have + *done*)、現在完了進行形(have been + *doing*) 【GC-1】
 - (1) 現在完了形・現在完了進行形の機能を理解し、それらが用いられた文の意味を理解することができる。
 - (2) 現在完了形・現在完了進行形を適切に使って、イラストの内容を表すことができる。
- ・受動態(be + *done*) 【GC-2】
 - (1) 受動態がどのような役割を持つかを理解し、それが用いられている文の意味を理解することができる。
 - (2) 受動態を適切に使って、スピーチの原稿を作成することができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
 - (Pt.1) humid, shave, version, present(v.), summary, mention, pillow, freezer, underground(adv.), melt, afford, transport(v.), invention, handy, household, available, nowadays
 - (Pt.2) dessert, throughout, source, stuff, peanut
 - (Pt.3) dig
 - (Pt.4) prevent, ingredient, reflect, involve, nutrition, recognize, conclusion
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
 - (Pt.1) elegant, treat(n.), syrup, vine, remaining, luxury, elaborate(adj.), social media
 - (Pt.2) Malaysian, Malaysia, top(v.), protein, creamy, texture, sweetness, jelly, crunchy, transparent, oval, immature, palm, springy
 - (Pt.3) mango
 - (Pt.4) dehydrate, refreshed, paste, nutritional, appealing
- ・味覚に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
 - (Pt.1) around the corner, make A from B, thanks to ...
 - (Pt.2) a bit
 - (Pt.3) Here comes ..., have got to do
 - (Pt.4) prevent O from doing, A such as B, in conclusion

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・好きな日本食を紹介する文章を作り、発表の練習を行ったうえで、実際に発表することができる。【MIY-STEP 2, 3】

3.4 話すこと（やり取り）（Spoken Interaction Domain） ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり，短い会話を行ったりすることができる。【TPS】 ・ネットワークに出てきた語句を使って，グループでストーリーを完成させることができる。【VN-TASK 1】
3.5 書くこと（Writing Domain） ・好きな日本食の特徴について，内容や構成に注意して発表原稿を書くことができる。【MIY-STEP 1, 2】 ・デザインに関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】
3.6 領域統合（Integrated Domains） ・本文で読んだ食感を伝える表現を用いて，好きな日本食の特徴を伝える文章を書く。そのうえで発表の練習を行い，実際に発表することができる。【MIY-STEP 1～3】
4. 学習への向き合い方と学習管理（Attitude & Learning Management） ・教師の発問に対して積極的に反応したり，ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。 ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を，コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。 ・食感に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ，ネットワークの充実化を図っている。 ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして，定着を図っている。 ・本課の全文を10回以上音読し，定着を図っている。【通読用本文】 ・授業の振り返り（リフレクション）を行い，学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking; MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 4 OriHime – A Vehicle of Your Heart (pp.52-67) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・吉藤氏がオリヒメを開発した経緯と、オリヒメによってどのような社会を目指しているのかを読み取ることができる。【全体】
- ・吉藤氏の孤独の体験からロボットを開発したという経緯から、オリヒメがどのようなロボットかを理解することができる。【Part 1】
- ・難病を患い、病院の外に出ることができない少年の想いを共感的に読み取ることができる。【Part 2】
- ・オリヒメの機能や使い方について理解することができる。【Part 2～3】
- ・オリヒメがなぜ genderless で無表情なデザインになっているのかを理解することができる。【Part 3】
- ・オリヒメのデザインによって、吉藤氏が何を実現したかったのかを理解することができる。【Part 3】
- ・オリヒメ開発の大きな支えとなった番田氏との出会いと別れについて、前後関係をとらえることができる。【Part 4】
- ・吉藤氏の手動力になっている伴田氏の言葉を理解することができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・関係代名詞 who, which, that 【GC-1】
 - (1) 関係代名詞 who, which, that の機能を理解し、それらが用いられた文の意味を理解することができる。
 - (2) 関係代名詞 who, which, that を適切に使って、有名な人のことを書くことができる。
- ・過去完了形(had + done), 過去完了進行形(had been + doing) 【GC-2】
 - (1) 過去完了形, 過去完了進行形がどのような時間関係を表すのかを理解し、それらが用いられている文の意味を理解することができる。
 - (2) 過去完了形, 過去完了進行形を適切に使って新聞記事を完成させることができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
 - (Pt.1) vehicle, youth, unable, establish maintain, enable
 - (Pt.2) connection, psychological, emotion, sadness
 - (Pt.3) blank, resemble, audience, perceive, missing, importantly
 - (Pt.4) badly, click, suggestion, functional, improvement, inspiration, whatever, wherever
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
 - (Pt.1) communicator, loneliness, belonging, genderless
 - (Pt.2) dash, confine(v), extension
 - (Pt.3) colorless
 - (Pt.4) co-developer, heartbreaking
- ・ロボットに関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
 - (Pt.1) in order to do, suffer from ..., as you know
 - (Pt.2) A as well as B, even though[if]
 - (Pt.3) wonder if ..., in the same way, at any time, point out ..., all the time
 - (Pt.4) a number of ..., go well, pass away, figure out ..., every time, as long as

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・オリヒメの活用法について英語でスライドやポスターを作成し、発表することができる。【MIY-STEP 3】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】

・ネットワークに出てきた語句を使って，グループでストーリーを完成させることができる。【VN-TASK 1】
3.5 書くこと（Writing Domain） ・オリヒメの活用法に関する質問に対して適切な答えを書くことができる。【MIY-STEP 1】 ・オリヒメの活用法について英語でポスターを制作することができる。【MIY-STEP 2】 ・ロボットに関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】
3.6 領域統合（Integrated Domains） ・本文で読んだオリヒメに込められた思いや活用法を踏まえ，オリヒメの新たな活用法を考え，スライドにまとめて発表することができる。【MIY-STEP 1～3】
4. 学習への向き合い方と学習管理（Attitude & Learning Management） ・教師の発問に対して積極的に反応したり，ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。 ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を，コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。 ・ロボットに関連する語彙や慣用表現を自分で調べ，ネットワークの充実化を図っている。 ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして，定着を図っている。 ・本課の全文を 10 回以上音読し，定着を図っている。【通読用本文】 ・授業の振り返り（リフレクション）を行い，学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;
 CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 5 Satoko and Nada (pp.68-83) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・「異文化理解」と「個人の尊重」の関係や「共生」や「多様性」の大切さを読み取ることができる。【全体】
- ・各漫画を通して、ユペチカ氏が読者に伝えたいことを理解できる。【Part 1, 2, 3, 4】
- ・ユペチカ氏とリオの関係性を把握できる。【Part 1】
- ・ユペチカ氏とリオがイスラム教徒に対して抱いていたイメージを理解できる。【Part 1】
- ・ステレオタイプではなく、個人として捉えることの重要性を理解できる。【Part 2】
- ・文化への興味が個人を知るきっかけとなり得ることを理解できる。【Part 3】
- ・多様性の大切さについて理解できる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・to 不定詞(to do) 【GC-1】
 - (1) to 不定詞(to do)の機能を理解し、それが用いられた文の意味を理解することができる。
 - (2) to 不定詞(to do)を適切に使って、イラストの内容を表すことができる。
- ・動名詞(doing) 【GC-2】
 - (1) 動名詞がどのような役割を持つかを理解し、それが用いられている文の意味を理解することができる。
 - (2) 動名詞を適切に使って文を完成し、ペアで共有することができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
 - (Pt.1) illustrate, author, lifestyle, personality, gap, impression
 - (Pt.2) avoid, individual, uncomfortable, general, mostly, naturally
 - (Pt.3) pray, prayer, embarrass, appearance, respect, curious, understanding
 - (Pt.4) reaction, aspect, despite, definitely
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
 - (Pt.1) Saudi Arabia, Muslim, Islam, mistaken, modest
 - (Pt.2) stereotype, wanna, roommate, cross-cultural
 - (Pt.3) considerate, humorously, intercultural
 - (Pt.4) diversity
- ・文化に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
 - (Pt.1) deal with ..., in the beginning
 - (Pt.2) keep ... in mind, in detail, in general, not A but B, I mean
 - (Pt.3) in the middle of ..., wrap ... up, in turn, play a role in ...
 - (Pt.4) over time, go on, go along with ...

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・『おにぎり(A RICEBALL)』漫画の翻訳をほかのグループと共有できる。【MIY-STEP 3】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・翻訳のアイデアをグループ内で議論し、1つ選出することができる。【MIY-STEP 1】
- ・ネットワークに出てきた語句を使って、グループでストーリーを完成させることができる。【VN-TASK 1】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・『おにぎり(A RICEBALL)』のセリフを英語に翻訳することができる。また、文脈を考え、ナダのセリフを表現

できる。【MIY-STEP 2】 文化に関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】
3.6 領域統合 (Integrated Domains) 本文で読んだ漫画の表現を踏まえて、『おにぎり(A RICEBALL)』のセリフの翻訳を行い，グループで話し合って1つ選出する。さらに，ほかのグループと共有することができる。【MIY-STEP 1～3】
4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management) - 教師の発問に対して積極的に反応したり，ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。 - 本課で学習した文法や語彙・慣用表現を，コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。 - 文化に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ，ネットワークの充実化を図っている。 - 本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして，定着を図っている。 - 本課の全文を10回以上音読し，定着を図っている。【通読用本文】 - 授業の振り返り（リフレクション）を行い，学習の成果と課題を明確にしている。
略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell; CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 6 A Sea of Plastic (pp.84-97) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・プラスチックごみの海洋汚染問題と、その解決に貢献するための対策を読み取ることができる。【全体】
- ・プラスチックが海洋生物に深刻な害を及ぼしており、それは氷山の一角であることを理解できる。【Part 1】
- ・プラスチックが発明された背景および、特徴と用途について理解できる。【Part 2】
- ・マイクロプラスチックが及ぼす影響について理解できる。【Part 3】
- ・プラスチック汚染問題解決に貢献する手段を理解し、「後世に地球を残す」ということについて考えることができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・現在分詞(名詞+ *doing*)・過去分詞(名詞+ *done*) 【GC-1】
 - (1) 現在分詞(名詞+ *doing*)・過去分詞(名詞+ *done*)の機能を理解し、それらが用いられた文の意味を理解することができる。
 - (2) 現在分詞(名詞+ *doing*)・過去分詞(名詞+ *done*)を適切に使って、イラストの内容を表すことができる。
- ・分詞構文 【GC-2】
 - (1) 分詞構文がどのような役割を持つかを理解し、それが用いられている文の意味を理解することができる。
 - (2) 分詞構文を適切に使って、週末の出来事を伝えることができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
(Pt.1) container, environmental, harmful, marine, harm, turtle, tip
(Pt.2) originally, material, chemical, derive, construction, transportation, rest, unfortunately, huge
(Pt.3) unlike, according, threat, pose, tend, attract, magnet, concentrate, creature, human being
(Pt.4) principle, purpose, require, whether
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
(Pt.1) wrapper, jellyfish, iceberg, conserve
(Pt.2) billiards, billiard, ivory, packaging, landfill, human race
(Pt.3) circulate, once (*conj.*), drift, microplastic, poisonous, food chain, substance
(Pt.4) reuse (*v.*), processing, rethink
- ・デザインに関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
 - (Pt.1) make A of B, the tip of the iceberg
 - (Pt.2) search for ..., for the better, throw away, go into ..., end up
 - (Pt.3) according to ...
 - (Pt.4) get ... out, cut down on ..., make use of ...

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・海洋プラスチック問題の解決に役立つポスターを作成し、発表することができる。【MIY-STEP 3】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・ネットワークに出てきた語句を使って、グループでストーリーを完成させることができる。【VN-TASK 1】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・ポスターに必要な題材を考え、英語で表現できる。【MIY-STEP 1】
- ・水質汚染に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・本文で読んだ海洋プラスチック問題の深刻さを踏まえて、解決策や改善案を提示し、ポスターを用いて魅力的なアイデアを選出することができる。【MIY- STEP 1～3】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・水質汚染に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ、ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を 10 回以上音読し、定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り (リフレクション) を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 7 Human Habitation on Mars (pp.98-111) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・宇宙探査がさまざまな発見や技術の開発につながっていることを読み取ることができる。【全体】
- ・火星について人が過去にどんな思いを巡らせていたのかを理解できる。【Part 1】
- ・想像されていた宇宙人の描写を読んで、その姿をイメージできる。【Part 1】
- ・これまでの火星探査の成果について理解できる。【Part 2】
- ・火星探査機の名前の意味と未来の展望について理解できる。【Part 2】
- ・火星に建築物を建てるためのアイデアについて理解できる。【Part 3】
- ・宇宙探査を行う意義や動機について理解することができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・助動詞(can, may, must) 【GC-1】
 - (1) 助動詞の機能を理解し、それらが用いられた文の意味を理解することができる。
 - (2) 助動詞を適切に使って、イラストの内容を表すことができる。
- ・関係代名詞の非制限用法(~, which / who ...) 【GC-2】
 - (1) 関係代名詞の非制限用法がどのような役割を持つかを理解し、それらが用いられている文の意味を理解することができる。
 - (2) 関係代名詞の非制限用法を適切に使って、法隆寺について説明する会話を完成させることができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
 - (Pt.1) illustration, exploration, surface, canal, perhaps, intelligent, being, gravity, decade, anxious
 - (Pt.2) horizon, possibility, complex(adj.), organic, dirt, curiosity, imply, remarkable, further
 - (Pt.3) origin, facility, architect, supply, solid, construct(v.),
 - (Pt.4) preparation, distant, benefit, unexpected, nearby, reveal, atmosphere, clue, global warming, artificial, necessity, practical, contribution
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
 - (Pt.1) habitation, Mars, astronomer, telescope, Martian, octopus, super-, spacecraft
 - (Pt.2) reddish, probe, unfrozen, rover, perseverance
 - (Pt.4) outer space, Venus, Celsius, cloud-computing, spin-off
- ・宇宙に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
 - (Pt.1) thousands of ..., look up, due to ..., be anxious to do
 - (Pt.2) at present
 - (Pt.3) come up with ..., bring up ...

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・宇宙旅行についての自分の意見をクラスメイトと共有できる。【MIY-STEP 4】
- ・ネットワークに出てきた語句を使って、グループでストーリーを完成させることができる。【VN-TASK 1】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・自分が宇宙に行きたいかどうかの意見とその理由を英語で表現できる。【MIY-STEP 3】
- ・宇宙に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・本文で読んだ火星の情報に加え，STEP 2 の宇宙に関するいくつかの事実を読み，宇宙に行きたいかどうかの意見とその理由を書き，クラスメイトと意見を交換することができる。【MIY-STEP 2, 3】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり，ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を，コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・宇宙に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ，ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして，定着を図っている。
- ・本課の全文を 10 回以上音読し，定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い，学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 8 A Loving Story (pp.112-125) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・ラビング夫妻に何が起き、どのようにして権利を勝ち取ったかを読み取ることができる。【全体】
- ・登場人物とその関係性を理解できる。【Part 1, 2】
- ・ラビング夫妻がバージニアから出ていくことになった理由を理解できる。【Part 1】
- ・ラビング夫妻がバージニアに帰ろうと決意した経緯を理解できる。【Part 2】
- ・コーエン氏がなぜラビング夫妻に協力するようになったのかを理解できる。【Part 2】
- ・ナレーションで語られる 1960 年代のアメリカの状況を理解できる。【Part 3】
- ・判決文を聞いたときのミルドレッドの気持ちを理解できる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・関係副詞(when / where) 【GC-1】
 - (1) 関係副詞(when / where)の機能を理解し、それらが用いられた文の意味を理解することができる。
 - (2) 関係副詞(when / where)を適切に使って、イラストの内容を表すことができる。
- ・関係代名詞の what 【GC-2】
 - (1) 関係代名詞 what がどのような役割を持つかを理解し、それが用いられている文の意味を理解することができる。
 - (2) 関係代名詞 what を適切に使って、やり取りをすることができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
 - (Pt.1) bang, sir, illegal, marriage, legal
 - (Pt.2) crowded, accidentally, fortunately, following, general
 - (Pt.3) equal, march, racial, injustice, well-known, judge (n.)
 - (Pt.4) tremble, justice, constitution, grasp, remain, happily
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
 - (Pt.1) loving, Virginia, Washington, D.C., jail
 - (Pt.2) builder, attorney
 - (Pt.3) purity
 - (Pt.4) ma'am, tightly
- ・法律・裁判に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
 - (Pt.1) fast asleep, make a decision
 - (Pt.2) make up one's mind, for free
 - (Pt.3) millions of ..., stand up for ..., speak out against ..., Why don't you do ...?, turn down ..., change one's mind
 - (Pt.4) in the end, for a moment, hand down ..., for a while, too ... to do, at last

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・登場人物になりきり、スキットを演じることができる。【MIY-STEP 4】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・演じる役柄をグループ内で話し合っ決めて決めることができる。【MIY-STEP 1, 2】
- ・ネットワークに出てきた語句を使って、グループでストーリーを完成させることができる。【VN-TASK 1】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・スキットの原稿を書き上げることができる。【MIY- STEP 3】
- ・法律・裁判に関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・本文で印象に残った場面のスキットを演じるにあたり，グループで役割分担を決め，責任を持って最後まで演じることができる。【MIY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり，ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を，コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・法律・裁判に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ，ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして，定着を図っている。
- ・本課の全文を 10 回以上音読し，定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い，学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 9 Edo, the Resilient City (pp.126-141) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・繰り返される火災被害から江戸の町がどのように立ち直ったのか、幕府と江戸住民の取り組みを読み取ることができる。【全体】
- ・江戸が栄えた理由と「明暦の大火」で江戸がどうなったのかを理解できる。【Part 1】
- ・「明暦の大火」後に徳川将軍がとった政策を理解できる。【Part 2】
- ・江戸の人口が増えた経緯を理解できる。【Part 2】
- ・「自助の精神」や町火消、浮世絵といった語の英語の説明文を理解できる。【Part 3】
- ・「明暦の大火」後の市民の活動について知ることができる。【Part 3】
- ・江戸の人たちから災害を乗り越える知恵を教えてくれていることを理解できる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・仮定法過去・仮定法過去完了【GC-1】
 - (1) 仮定法過去・仮定法過去完了の機能を理解し、それらが用いられた文の意味を理解することができる。
 - (2) 仮定法過去・仮定法過去完了を適切に使って、質問に対する答えを作ることができる。
- ・as if+仮定法【GC-2】
 - (1) 「as if+仮定法」を用いる際に時制がどうなるかを理解できる。
 - (2) 「as if+仮定法」がどのような役割を持つかを理解し、それが用いられている文の意味を理解することができる。
 - (3) 「as if+仮定法」を適切に使って、詩を書くことができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
 - (Pt.1) worth, directly, rapidly, explosion, drown, collapse
 - (Pt.2) shelter, creation, enormous, seek, partly, contribute, rebuild, opposite, bank, firework
 - (Pt.3) citizen, resident, thus, voluntary, risk, fascinate, occur, locate, rush
 - (Pt.4) generous, besides(adv.), mutual, assistance, disaster, frequently, succeed
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
 - (Pt.1) resilient, surpass, ironically, ash, flame
 - (Pt.2) shogunate, reconstruct, fire-resistant, expansion, flourish
 - (Pt.3) self-help, merchant, fire-fighting, depict, woodblock, handwritten, house(v.)
 - (Pt.4) earnings, resilience, reconstruction, fire-stricken
- ・災害に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
 - (Pt.1) what is called ..., to death
 - (Pt.2) set out to do, call for ..., all over ...
 - (Pt.3) when needed
 - (Pt.4) take pride in ..., as is often said, come and go, break out, as a result of, time after time

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・留学生を案内する旅程表をクラスの前で発表できる。【MIY-STEP 3】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・発表された旅程表について話し合い、最善案を1つ選出することができる。【MIY-STEP 3】
- ・ネットワークに出てきた語句を使って、グループでストーリーを完成させることができる。【VN-TASK 1】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・留学生を案内する旅程を考え、英語で表現することができる。【MIY-STEP 1,2】
- ・災害に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・交換留学生のリクエストに沿った旅程表を書き、グループで発表をして、最善策を一つ選出することができる。【MIY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・災害に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ、ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読し、定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking; MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 10 A Quality Education for All (pp.142-155) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・アフリカにおける教育事情について学び、貧困が教育に及ぼしている影響を読み取ることができる。【全体】
- ・教育を受けられない子どもたちがいることと、その理由を理解できる。【Part 1】
- ・マリールイズさんの生い立ち・背景を把握できる。【Part 2】
- ・ルワンダの内戦の状況とマリールイズさんが見た光景をイメージできる。【Part 2】
- ・マリールイズさんがウムチョムイーザ学園を立ち上げた理由と学園の特徴を理解できる。【Part 3, 4】
- ・ウムチョムイーザ学園における学校給食の重要性を理解できる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・動詞＋名詞＋that 節 [wh-節/ if 節] 【GC-1】
 - (1) 「動詞＋名詞＋that 節 [wh-節/ if 節]」の機能を理解し、それらが用いられた文の意味を理解することができる。
 - (2) 「動詞＋名詞＋that 節 [wh-節/ if 節]」を適切に用いて、イラストの内容を表すことができる。
- ・強調構文(It is ... that ～) 【GC-2】
 - (1) 強調構文がどのような役割を持つかを理解し、それが用いられている文の意味を理解することができる。
 - (2) 強調構文を適切に使って、自分で作った文のある部分を強調する文を作ることができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
(Pt.1) issue, quote, weapon, poverty
(Pt.2) link, awful, horrible, breast
(Pt.3) terror, capital, opportunity, regular
(Pt.4) president, amazing, aware
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
(Pt.1) Rwanda, sub-Saharan
(Pt.2) transcript, dressmaking, sponsor, Rwandan, genocide, ethnic, flee, refugee
(Pt.3) nonprofit, Kigali, kindergarten, checkup
(Pt.4) that(adv.)
- ・教育に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
(Pt.1) as far as ..., in addition, in short
(Pt.2) first of all, That's right.
(Pt.3) set up ...
(Pt.4) I see., do one's best

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・グループで SDGs についてのポスターを作成し、なぜその目標が最も達成が困難で最も重要だと思うかを説明することができる。【MIY-STEP 4】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・SDGs の目標のうち、どれが最も達成が困難か、どれが最も重要かについて、自分の意見をグループ内で共有することができる。【MIY-STEP 3】
- ・ネットワークに出てきた語句を使って、グループでストーリーを完成させることができる。【VN-TASK 1】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・SDGs で最も達成が困難な目標と最も重要な目標について、ポスターを書くことができる。【MIY- STEP 2】
- ・教育に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・本文で読んだ教育の大切さを踏まえて、SDGs について考え、自分たちができることや必要だと思うことをグループ内でポスターにし、発表できる。【MIY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・教育に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ、ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を 10 回以上音読し、定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

Reading Passage 1 The Window (pp.156-161) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・同じ病室に入院している 1 人の男性がもう 1 人の男性のために語る話の内容とその理由を読み取ることができる。
- ・2 人の男性の置かれた状況を把握できる。
- ・男性が亡くなったあと、真実を知ったもうひとりの男性の心情を考えることができる。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
occupy, lung, flat, duck, swan, lover, landscape, appropriate(adj.), blind
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
drain, fluid, broaden, enliven, overlook(v.), amidst, grace, skyline, picturesque, portray, descriptive, lifeless, sadden, attendant, painfully, prop, strain, compel, deceased

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
sit up, flat on one's back, on end, pass the time, live for ..., arm in arm, pass by, only to do, take ... away, as soon as..., make sure, prop ... up, for oneself, look out ..., feel better

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文に関する英文を聞き、その内容を理解できる。

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・場面ごとの登場人物の気持ちを読み取り、内容理解の質問に答えることができる。【AYR-1】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・自分で作成した想像上のエピローグをクラスの前で発表できる。【AYR2-3】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・質問の答えについて、クラスメイトと意見交換できる。【AYR2-1】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・本文の内容を理解し、自分の意見と想像上のエピローグを完成させることができる。【AYR2-2】

3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・小説を読み、情景をイメージしながら読み進めることができる。

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した語彙や慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・小説における登場人物の視点に立てる・感情を汲み取ることができる。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を 10 回以上音読し、定着を図っている。
- ・授業の振り返り (リフレクション) を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: AYR=After You Read

Reading Passage 2 Gender Equality Is Everyone's Concern (pp.162-169)

CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・ HeForShe が設立された背景と、目指していることを読み取ることができる。
- ・ ジェンダー平等の実現に向けてどのような課題があるのかを理解できる。
- ・ FOCUS にかかっている質問に注意しながら読み進めることができる。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 語彙 (Vocabulary)

- ・ 本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
gender, equality, concern, briefly, launch, appoint, definition, belief, theory, political, economic, sex, question(v.), assumption, confused, direct(v.), element, recent, identify, apparently, rank, aggressive, isolate, behalf, policy, sadly, achieve, human rights, assume, ambition, participate, extend, formal, invitation, presence, mental, suicide, fragile, constitute, consequence, sensitive, freedom, prejudice, permission, abandon, complete, evil, triumph, firmly, present(v.), helpful, current, rural, applaud, struggle, unite
- ・ 上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
Inequality, galvanize, advocate(n.), tangible, goodwill, ambassador, feminism, synonymous, sexualize, beloved, muscly, feminist, uncomplicated, unpopular, anti-, unattractive, counterpart, socially, sheer, privilege, mentor, influencer, inadvertent, statistically, killer, eclipse(v.), coronary, insecure, distorted, imprison, submissive, spectrum, opposing, mantle, vulnerable, reclaim, statesman, nervousness, secondary education

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・ 次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
reach out to ..., the more ..., the more ..., for certain, for the record, by definition, put on ..., drop out, on one's behalf, go far, give birth to ..., stand out, to date, feel free to do, instead of ..., be (all) about ..., take up ..., care about ..., the forces of evil, step forward

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・ 本文に関する英文を聞き、その内容を理解できる。

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・ スピーチの展開に注意して読み、内容理解の質問に答えることができる。【AYR-1】
- ・ p.163 の FOCUS のポイントに注意して読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・ スピーチで気に入った箇所と、その理由を発表することができる。【AYR 2-1】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・ 下線(1), (2)が表す意味について、意見交換することができる。【AYR 2-2】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・ スピーチで気に入った箇所と、その理由を書くことができる。【AYR 2-1】

3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・ スピーチで取り上げられている例や数字を理解しながら読み進めることができる。

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・ 教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・ 本課で学習した語彙や慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・ スピーチにおける特徴的な表現を理解し、運用することができる。
- ・ 本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・ 本課の全文を 10 回以上音読し、定着を図っている。
- ・ 授業の振り返り (リフレクション) を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: AYR=After You Read